



気象災害から**命**を守ろう

～ あなたの大切な人を守るために～



大阪管区気象台予報課
防災気象官 小島 豊

- ① 大雨による災害
- ② 防災気象情報
- ③ 情報の利用
- ④ 気象台からのお願い



大雨による災害

平成30年7月豪雨

6月29日に日本の南で発生した台風第7号は、東シナ海を北上し、7月4日には日本海を北東に進み、4日15時に温帯低気圧に変わりました。また、5日から8日にかけては、西日本に停滞した前線に向かって、南から暖かい湿った空気が流れ込み、大阪府では、前線の活動が活発となりました。

能勢では降り始めからの総雨量(7月5日00時から8日10時まで)が498.5ミリを観測し、7月の月降水量第1位(2015/7月 427.0ミリ)を上回る大雨となりました。

(大阪管区気象台の気象速報より引用し、一部改変)

【豊能郡能勢町 (アメダス：能勢観測所) の記録】

日降水量：265.0ミリ (年間を通しての1位を更新)

月最大48時間降水量：433.0ミリ (年間を通しての1位を更新)

【1府10県に大雨特別警報を発表】

福岡県、佐賀県、長崎県、岡山県、広島県、鳥取県、兵庫県、京都府、岐阜県、高知県、愛媛県

平成30年7月豪雨の被害

《死者》

岐阜県：1人、滋賀県：1人、京都府：5人、兵庫県：2人、奈良県：1人、
岡山県：61人、広島県：108人、山口県：3人、
愛媛県：26人、高知県：3人、
福岡県：4人、佐賀県：2人、宮崎県：1人、鹿児島県：2人

合計：220人

《行方不明者》

岡山県：3人、広島県：6人、愛媛県：1人

合計：10人

《その他連絡が取れない人》

愛媛県：1人

《家屋被害》

全壊家屋： 5, 443 棟

半壊家屋： 6, 597 棟

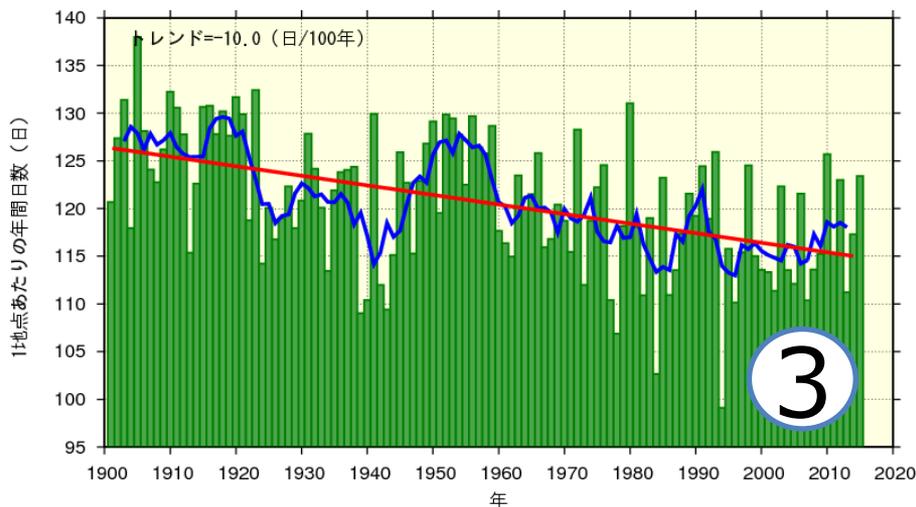
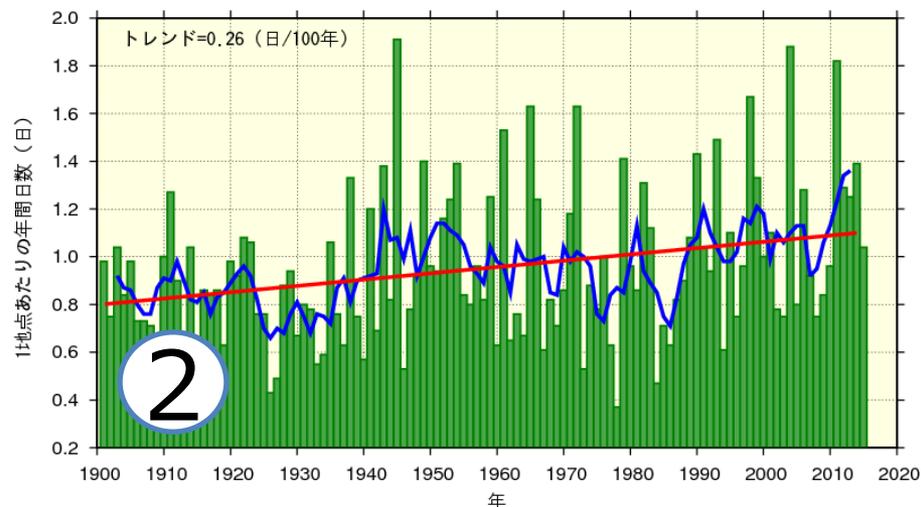
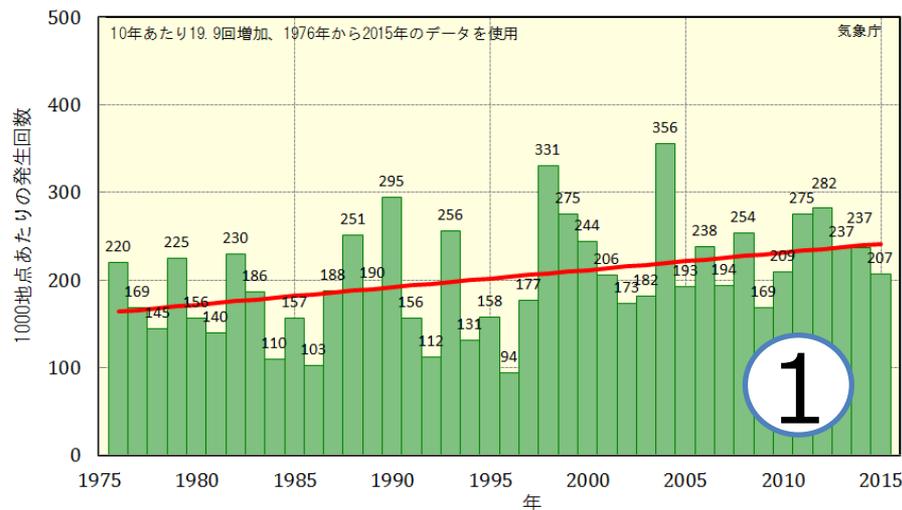
一部損壊： 3, 249 棟

床上浸水： 11, 544 棟

床下浸水： 20, 646 棟

(内閣府：平成30年7月豪雨による被害状況等について（平成30年8月7日14:00現在）より）

- “非常に激しい雨”や大雨の頻度は増加傾向。
- 一方、降水日数は減少傾向。



- ① 1時間降水量50mm以上の年間発生回数 (1976～)
- ② 日降水量100mm以上の年間日数(1900～)
- ③ 雨の降る日 (日降水量1.0mm以上) の年間日数 (1900～)

平成29年7月九州北部豪雨

降水量の多い方から（7月5日0時～7月6日24時）

■ 観測史上1位更新

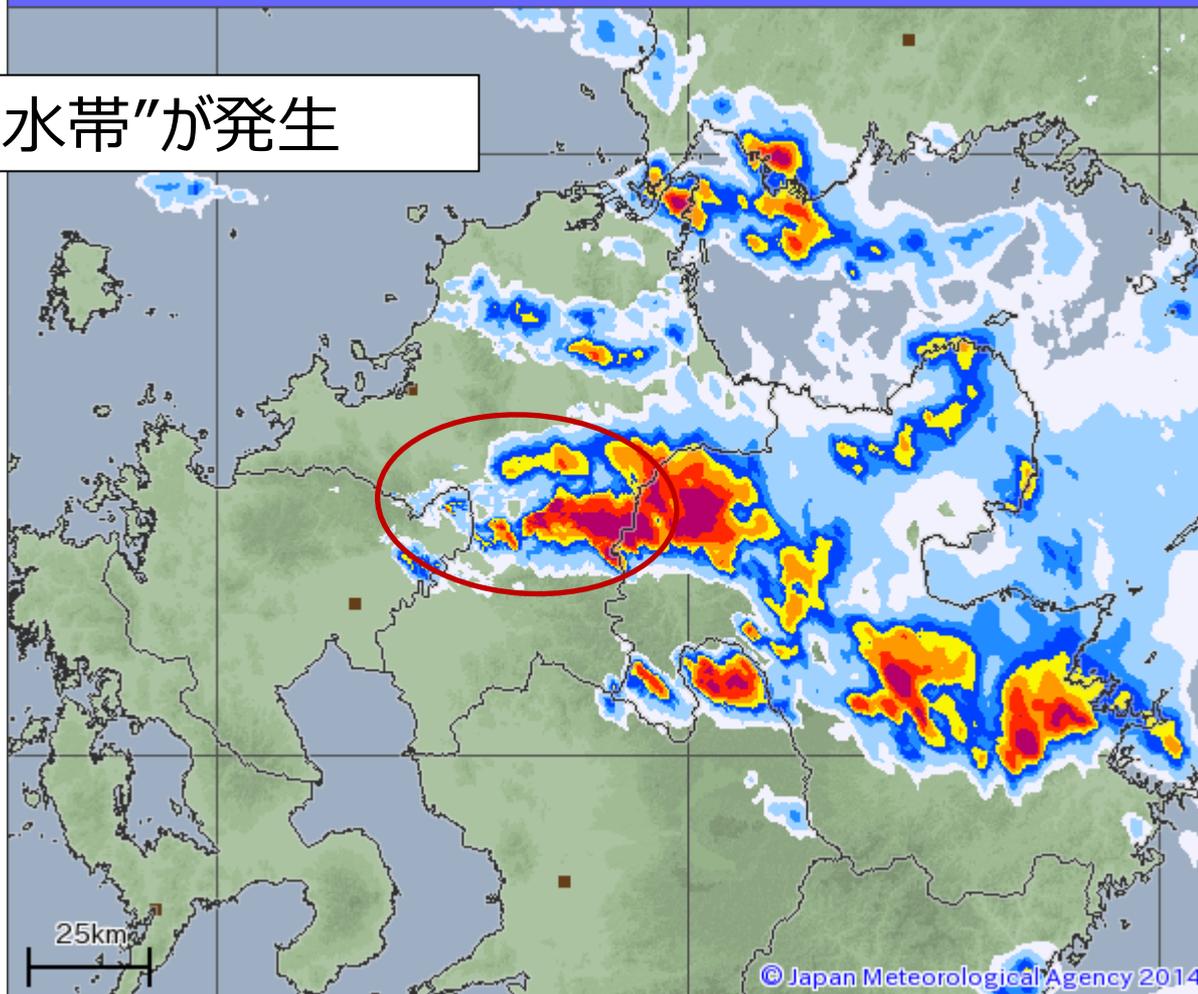
	順位	都道府県	市町村	地点名(よみ)	降水量		
					(mm)	月日	時分
1時間	1	福岡県	朝倉市	朝倉 (あさくら)	129.5	7月5日	15:38
	2	長崎県	壱岐市	芦辺 (あしべ)	90.0	7月6日	02:44
	3	大分県	日田市	日田 (ひた)	87.5	7月5日	18:44
3時間	1	福岡県	朝倉市	朝倉 (あさくら)	261.0	7月5日	15:40
	2	長崎県	壱岐市	芦辺 (あしべ)	191.0	7月6日	03:20
	3	大分県	日田市	日田 (ひた)	186.0	7月5日	20:20



平成29年7月九州北部豪雨（雨雲の様子）

2017年07月05日17時00分

“線状降水帯”が発生



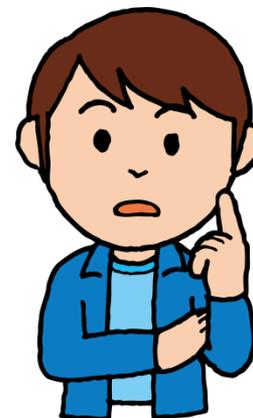
2017年7月5日17時～5日20時

重大な災害をもたらせる大雨の多くは、
「**線状降水帯**」によって発生している。

「線状」の強い雨雲が
発生・接近するときは
要警戒



大阪で、
このような災害が発生する
可能性は？



大阪の大雨（2012年8月14日）



大阪府内の被害件数

(大阪府危機管理室調べ)

- 床上浸水 2,597 件
- 床下浸水 13,559 件
- 死者 1 人、軽症 2 人

アメダス

大阪府枚方 : 14日06時20分までの1時間に91.0 ミリ

京都府京田辺 : 14日06時25分までの1時間に78.0 ミリ

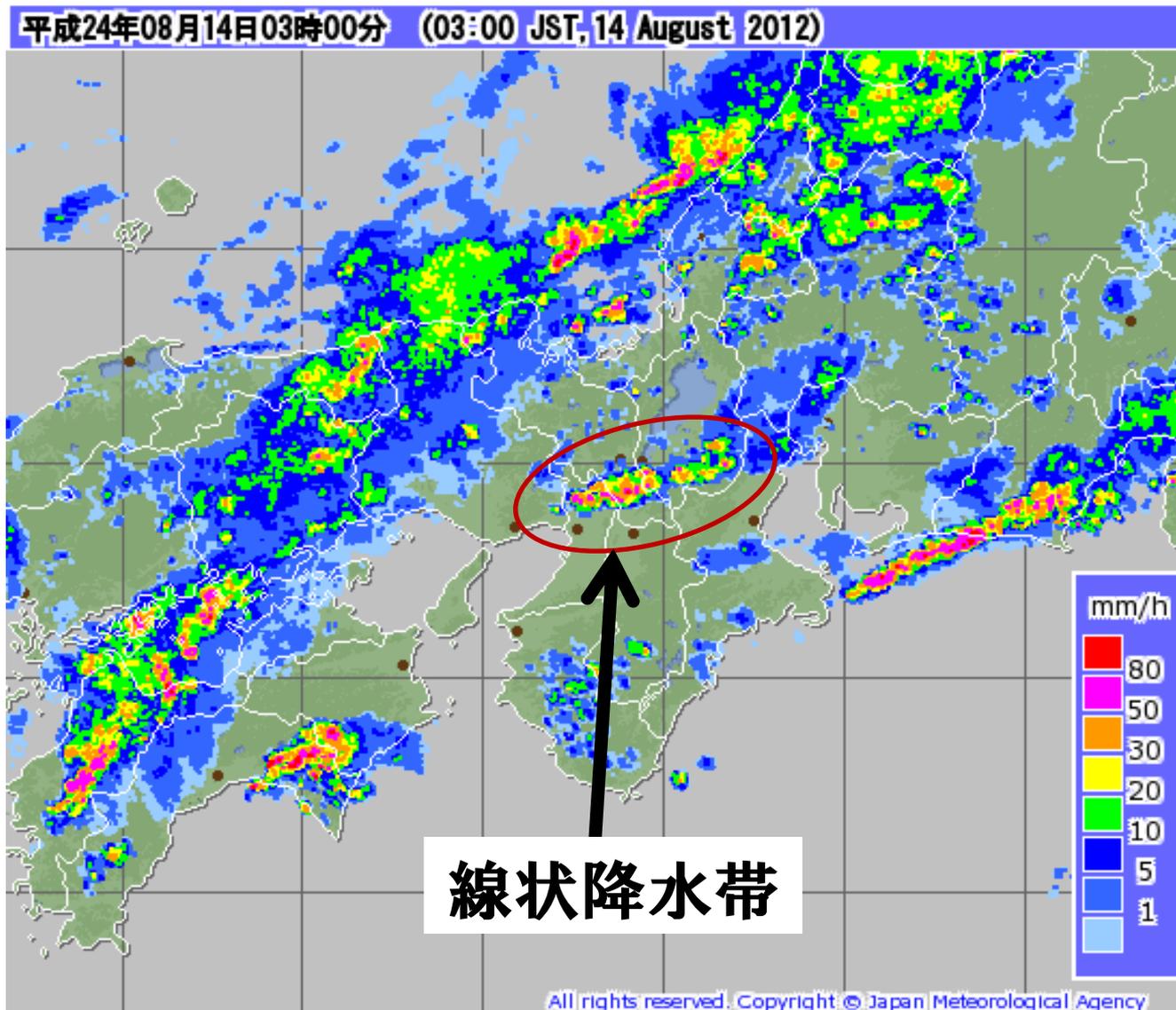
ともに観測史上1位の値を更新

解析雨量（気象レーダーと地上雨量計を組み合わせた分析）

14日05時30分までの1時間に大阪府高槻市付近で

約110ミリの猛烈な雨

2012年8月14日の雨雲の動き (3時～8時まで)



線状降水帯は条件さえ整えば、
どこでも発生する！！





防災気象情報

特別警報

大雨、暴風、暴風雪、大雪、高潮、波浪

警報

大雨、暴風、暴風雪、大雪、高潮、洪水、波浪

注意報

大雨、強風、風雪、大雪、高潮、洪水、波浪、濃霧、雷、乾燥、なだれ、着雪、霜、低温、着氷、融雪

警報級の可能性

雨、雪、風、波について、5日先までの警報級の現象が見込まれる可能性を、「－」「中」「高」の3段階で提供。

府県・地方気象情報

警報等を予告、補完する事項または少雨・低温など注意を喚起すべき事項を気象情報として発表。

記録的短時間大雨情報

警報発表中において、数年に一度程度の短時間の大雨が観測された場合は、記録的短時間大雨情報として発表。

土砂災害警戒情報

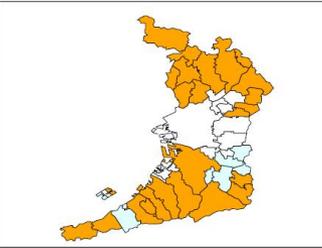
土砂災害の危険度が非常に高まったときに、対象となる市町村を特定して都道府県と気象庁が共同して発表。

大阪府土砂災害警戒情報 第8号
平成26年8月10日 16時10分
大阪府 大阪管区気象台 共同発表

【警戒対象地域】
堺市 岸和田市 豊中市 池田市 吹田市 高槻市 貝塚市 枚方市 茨木市 泉佐野市
河内長野市 大東市 和泉市 箕面市 四條畷市 交野市 阪南市 島本町 豊能町
能勢町 熊取町 岬町 河南町 千早赤松村

【警戒解除地域】
富田林市 柏原市 羽曳野市 泉南市 大阪狭山市 太子町

【警戒文】
<概況>
大雨のため、警戒対象地域では土砂災害の危険度が高まっています。
<とるべき措置>
崖の近くなど土砂災害の発生しやすい地区にお住まいの方は、早めの避難を心がけるとともに、市町村から発表される避難勧告などの情報に注意してください。



問い合わせ先
06-6944-6167 (大阪府)
06-6949-6303 (大阪管区気象台予報課)

指定河川洪水予報

河川管理者（国土交通省、都道府県）と共同し、河川を指定して発表。

大阪府内の洪水予報指定河川
国交省と大阪管区気象台の共同発表：
大和川下流、淀川、猪名川
大阪府と大阪管区気象台の共同発表：
大津川・榎尾川、牛滝川、石川、
寝屋川流域、神崎川・安威川

台風に関する情報

台風の中心位置や強度の実況および予測に関する情報を発表。

台風予報図表示例

台風第0号 10日09時現在
大型 強い
北緯... .. 東経... ..
最大風速 毎秒40メートル
最大瞬間風速 毎秒60メートル



予報円
暴風警戒域
風速25m/s以上の暴風域
風速15m/s以上の強風域

“3日先まで”の進路及び強さの予報、
”5日先まで”の進路の予報を発表

竜巻注意情報

竜巻など激しい突風の発生する危険な気象状況の場合に発表。

大阪府竜巻注意情報 第1号
平成27年8月7日18時20分 大阪管区気象台発表

大阪府は、竜巻などの激しい突風が発生しやすい気象状況になっています。

空の様子に注意してください。雷や急な風の変化など積乱雲が近づく兆しがある場合には、頑丈な建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。
落雷、ひょう、急な強い雨にも注意してください。

この情報は、7日19時20分まで有効です。

注意報：災害の発生するおそれがある場合に発表

強風、風雪、大雨、洪水、大雪、高潮、波浪、濃霧、雷、乾燥、なだれ、
着雪、霜、低温、着氷、融雪

警報：重大な災害の発生するおそれがある場合に発表

暴風、暴風雪、大雨、洪水、大雪、高潮、波浪

特別警報：重大な災害の発生するおそれが著しく大きい場合に発表

暴風、暴風雪、大雨、大雪、高潮、波浪

リードタイム（猶予時間、準備期間、先行時間）

短時間強雨に関する大雨・洪水警報、注意報 …… 2 から 3 時間

その他の警報、注意報 …… 3 から 6 時間

特別警報・・・伊勢湾台風級の低気圧を要因として特別警報を発表するときは、十分な猶予時間を持って
(実際に暴風になる前に) 事前の注意喚起や特別警報発表が行える場合も多いと考える。

「警報級の現象が予想される期間」等を、危険度に応じて色分けした時系列の表形式により視覚的に把握しやすい形で提供。

平成〇〇年〇〇月〇〇日 21時19分 〇〇地方気象台発表
 〇〇市

【発表】 暴風, 波浪警報 大雨, 雷, 濃霧注意報

【継続】 高潮注意報

8日昼前までに大雨警報（浸水害）に切り替える可能性が高い
 8日昼前までに高潮警報に切り替える可能性が高い

〇〇市		今後の推移 (■警報級 ■注意報級)									備考・ 関連する現象
発表中の 警報・注意報等の種別		7日	8日								
		21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	
大雨	1時間最大雨量 (ミリ)	10	10	30	30	50	50	50	30		
	(浸水害)										浸水注意
暴風	風向 風速 (矢印・ メートル)	陸上	15	18	20	22	22	25	18	15	以後も注意報級
		海上	20	22	25	28	28	30	22	20	以後も注意報級
波浪	波高(メートル)	5	5	8	8	8	9	8	7	7	以後も警報級
高潮	潮位(メートル)	0.7	0.7	0.8	1.0	1.8	2.0	1.8	1.2	1.2	以後も警報級 ピークは8日15時頃
雷											突風、ひょう
濃霧											視程200メートル以下

警報級の 可能性	翌日まで 積乱雲や線状降水帯などの小規模な現象に伴う大雨から、 台風・低気圧・前線などの大規模な現象に伴う大雨までが対象。	2日先から5日先まで 台風・低気圧・前線などの大規模な現象に 伴う大雨が主な対象。
発表時刻・発表単位	天気予報に合わせて発表 毎日05時・11時・17時に、一次細分区域ごとに発表	週間天気予報に合わせて発表 毎日11時・17時に、府県予報区ごとに発表
<p>[高]</p> <p>対象区域内の いずれかの市町村で 警報発表中、又は、 警報を発表する ような現象発生の 可能性が高い状況。</p>	<p>翌日までの期間に「警報級の可能性」の [高] が発表されたときは、危険度が 高まりつつあり、「<u>警報に切り替える可能性 が高い注意報</u>」や「<u>予告的な府県気象 情報</u>」がすでに発表されているか、まもなく 発表することを表しています。これらの 情報で、命に危険が及ぶような<u>警報級の 現象が予想される詳細な時間帯を 確認</u>してください。</p>	<p>数日先の「警報級の可能性」の [高] や [中] が発表されたときは、 <u>心構えを早めに高めて</u>、これから発表 される「<u>台風情報</u>」や「<u>予告的な 府県気象情報</u>」の内容に十分留意 するようにしてください。</p>
<p>[中]</p> <p>[高] ほど可能性が 高くないが、 対象区域内の いずれかの市町村で 警報を発表する ような現象発生の 可能性がある状況。</p>	<p>翌日までの期間に「警報級の可能性」の [中] が発表されたときは、これをもって 直ちに避難等の対応をとる必要は ありませんが、<u>深夜などの警報発表も 想定して心構えを一段高めておくよう に</u>してください。</p>	

↑「高」の方が「中」よりも空振りが少ない。

←「明日まで」の方が「明後日から5日先まで」よりも見逃しが少ない。

平成30年 8月21日17時00分 大阪管区气象台発表

大阪府の警報級の可能性

大阪府では、22日までの期間内に[高]及び[中] はない。今後の情報に留意。

大阪府	警報級の可能性						
	21日	22日		23日	24日	25日	26日
	明け方まで	朝～夜遅く					
	18-6	6-24					
大雨	—	—		[中]	[高]	—	—
暴風	—	—		[高]	[高]	—	—
波浪	—	—		[高]	[高]	—	—

雨、雪、風、波についての、5日先までの「警報級の現象となる可能性」を公表します。

【明日まで】

05時・11時・17時に発表するほか、警報・注意報発表時に量的予報値等に変化があった場合、それと整合させるように修正発表する。

【明後日から5日先まで】

11時・17時に発表する。(週間予報と同じ)

河川の増水や氾濫などのおそれの状態を、水位または流量を示して行う洪水の予報

- ・気象庁は降雨などの予測を担当
- ・国交省や都道府県は河川の水位または流量の予測を担当

共同発表

国交省と気象台が共同発表

- ・淀川
- ・大和川下流
- ・猪名川

大阪府と気象台が共同発表

- ・淀川水系 神崎川・安威川
- ・淀川水系 寝屋川流域
- ・大和川水系 石川
- ・大津川水系 大津川・榎尾川
- ・大津川水系 牛滝川



土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを呼びかけるため、**都道府県と気象庁が共同で発表する防災気象情報**です。

■ 警戒対象地域

あらかじめ決められた警戒基準を超えると予想される市町村を明記します。また、新たに警戒対象となった市町村名の後ろに*印を付加します。

■ 警戒文

テレビ・ラジオ等の報道機関や防災行政無線等音声で情報を伝える場合を想定し、必要な情報を最小限の文字数で伝えるようにします。

大阪府土砂災害警戒情報 第6号

平成29年10月22日 22時20分
大阪府 大阪管区気象台 共同発表

【警戒対象地域】

堺市 岸和田市 池田市* 高槻市 貝塚市 枚方市 八尾市 泉佐野市 富田林市
河内長野市 大東市 和泉市 箕面市* 柏原市 羽曳野市 東大阪市 泉南市
四條畷市 交野市 大阪狭山市 阪南市 豊能町 能勢町 熊取町 岬町 太子町
河南町 千早赤阪村

*印は、新たに警戒対象となった市町村を示します。

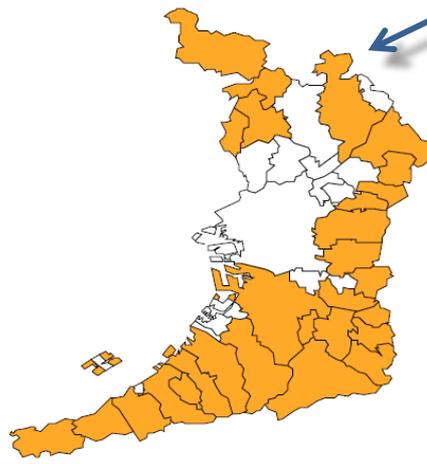
【警戒文】

<概況>

大雨のため、警戒対象地域では土砂災害の危険度が高まっています。

<とるべき措置>

崖の近くなど土砂災害の発生しやすい地区にお住まいの方は、早めの避難を心がけるとともに、市町村から発表される避難勧告などの情報に注意してください。



■ 補足する図

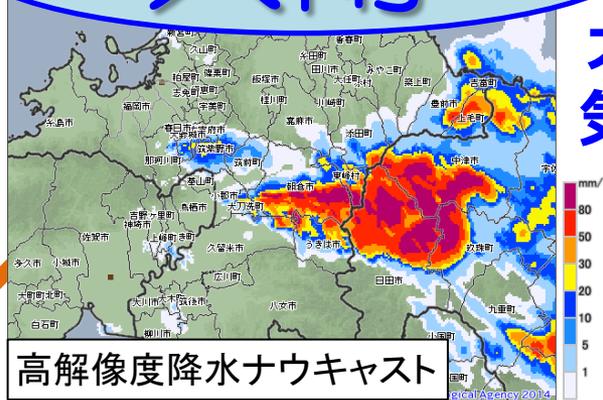
警戒対象地域、警戒解除地域を示します。

■ 警戒対象地域

問い合わせ先
06-6944-6167 (大阪府)
06-6949-6303 (大阪管区気象台予報課)

※平成29年台風第21号の際に発表された、土砂災害警戒情報

大雨



大雨の降っている場所は
気象レーダーで把握可能

(でも、災害の発生する
場所・時間とは、
必ずしも一致しない)

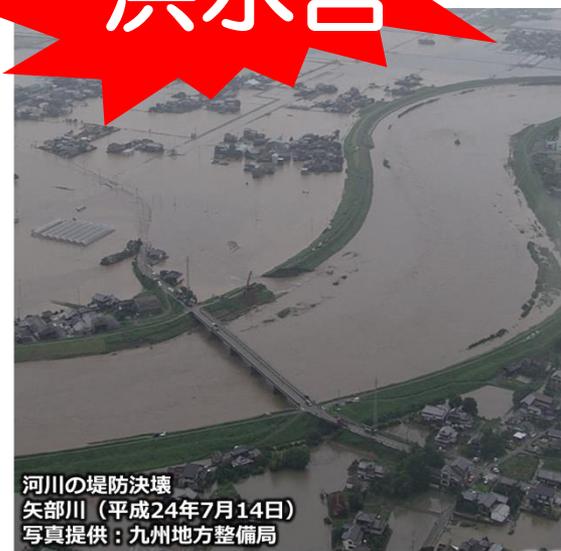
土砂災害



浸水害

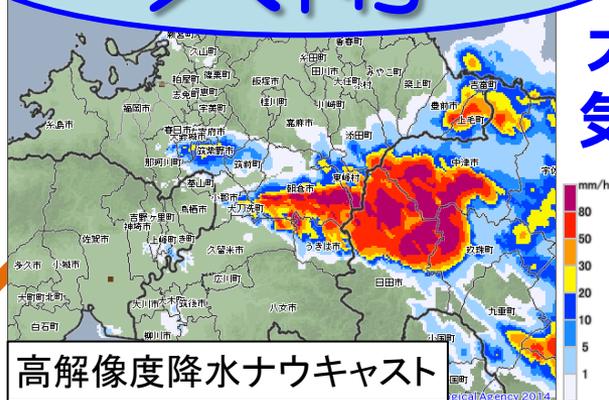


洪水害



大雨

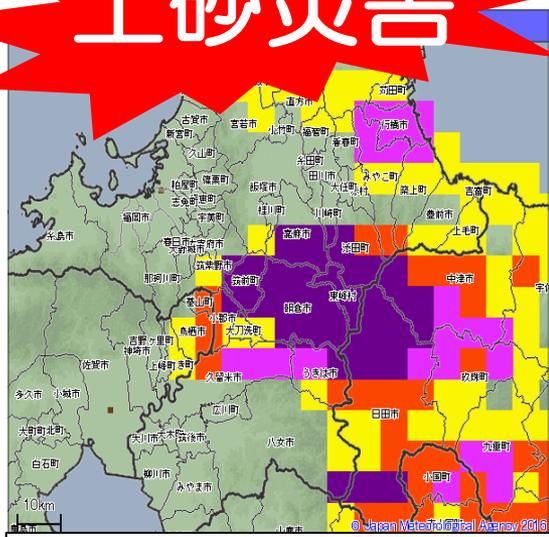
気象庁では、
警報等と合わせて、どこで
危険度が高まっているか
視覚的に確認できるよう
危険度分布も提供。



大雨の降っている場所は
気象レーダーで把握可能

(でも、災害の発生する
場所・時間とは、
必ずしも一致しない)

土砂災害



土砂災害警戒判定メッシュ情報
(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)

浸水害



大雨警報(浸水害)の危険度分布

洪水害



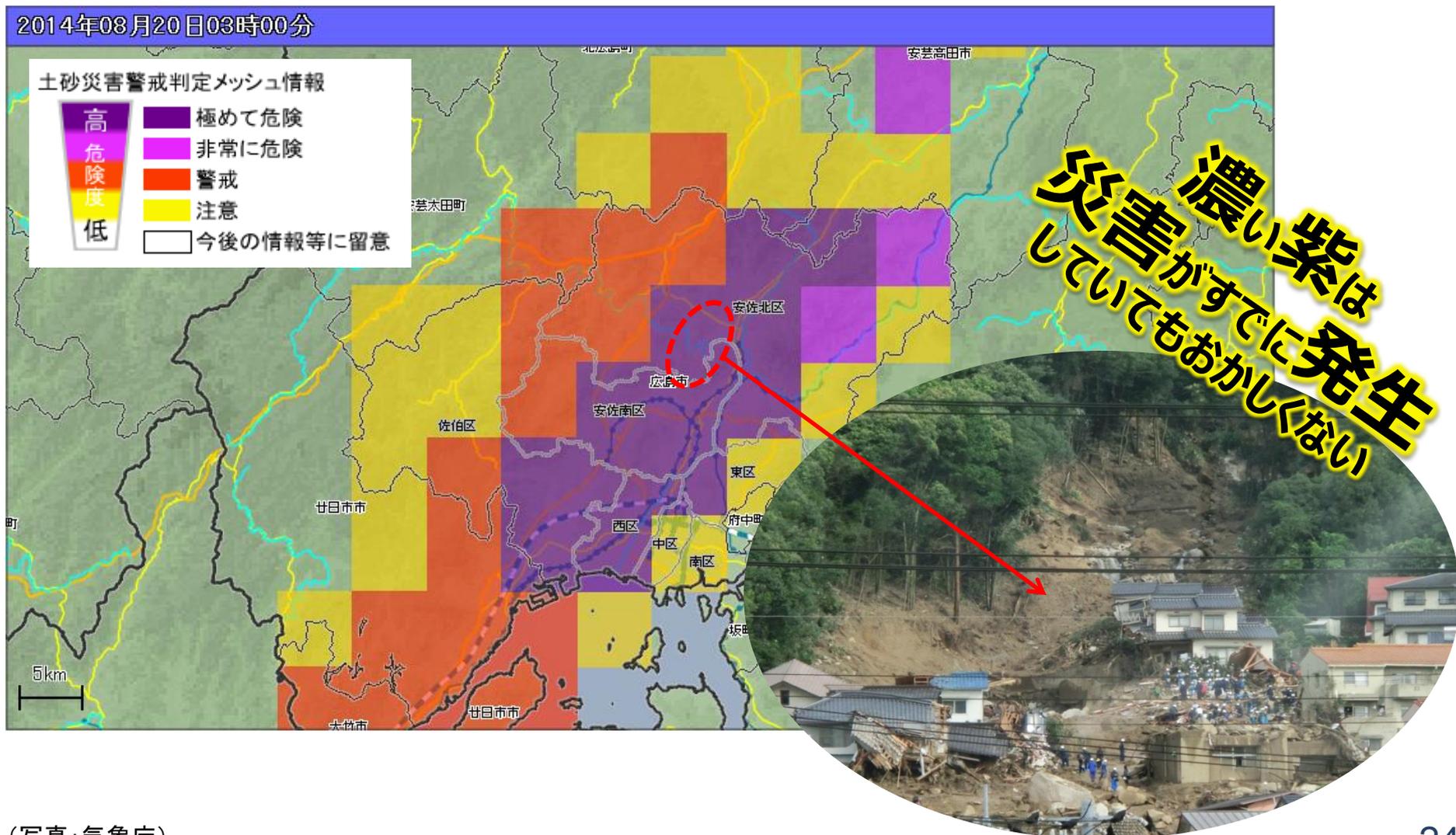
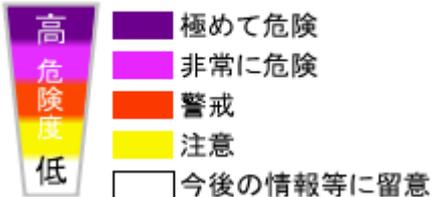
洪水警報の危険度分布

土砂災害

(平成26年8月20日 広島市)

2014年08月20日03時00分

土砂災害警戒判定メッシュ情報



濃い紫は災害がすでに発生しているもおおしくない

浸水害

(平成28年9月6日 稚内市)

2016年09月06日13時00分

**濃い紫は
災害がすでに発生
しているもおかしくない**

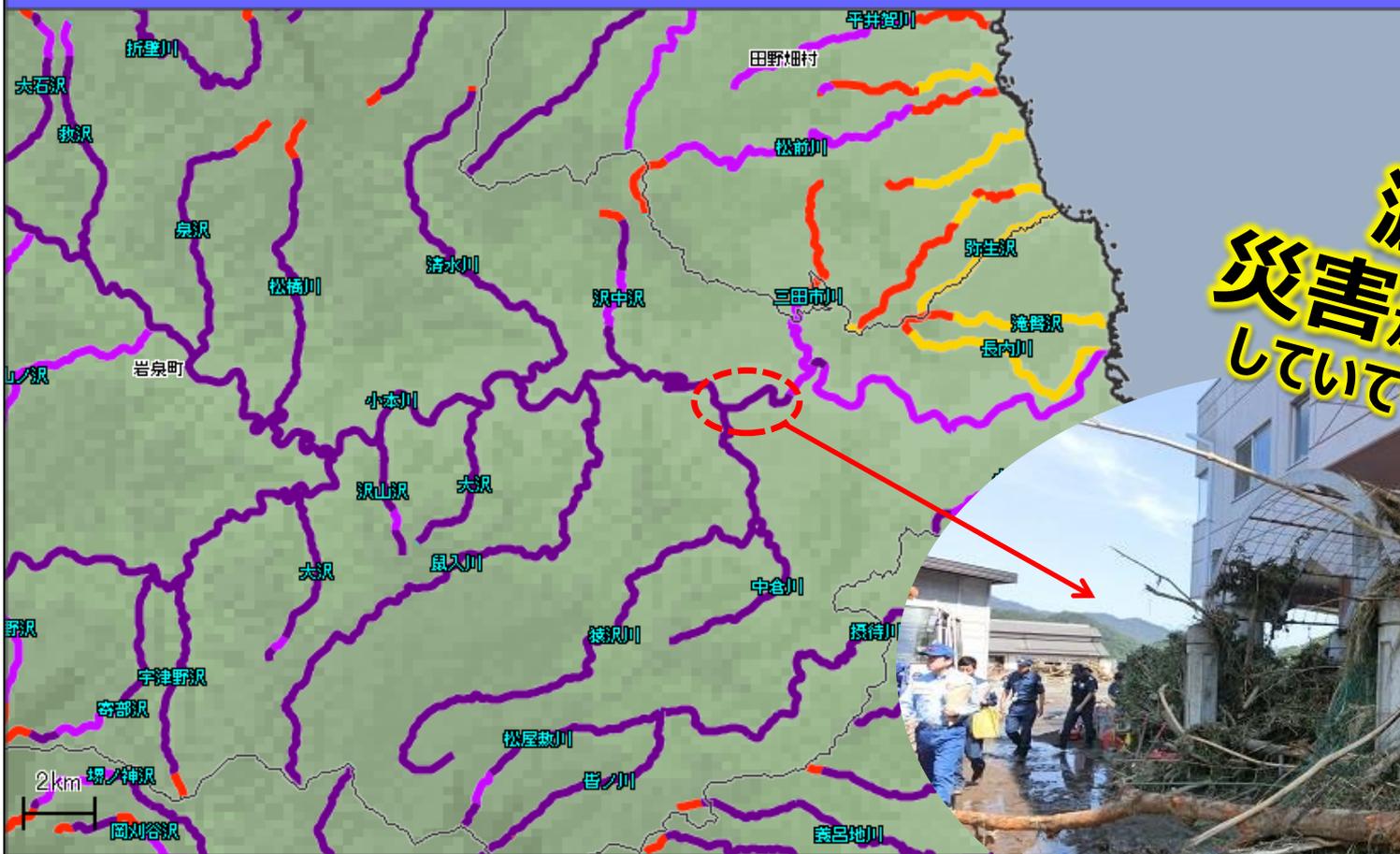


(写真:稚内地方気象台)

洪水害

(平成28年8月30日 岩泉町)

2016年08月30日18時10分



**濃い紫は
災害がすでに発生
していてもおかしくない**



2017年07月05日17時10分

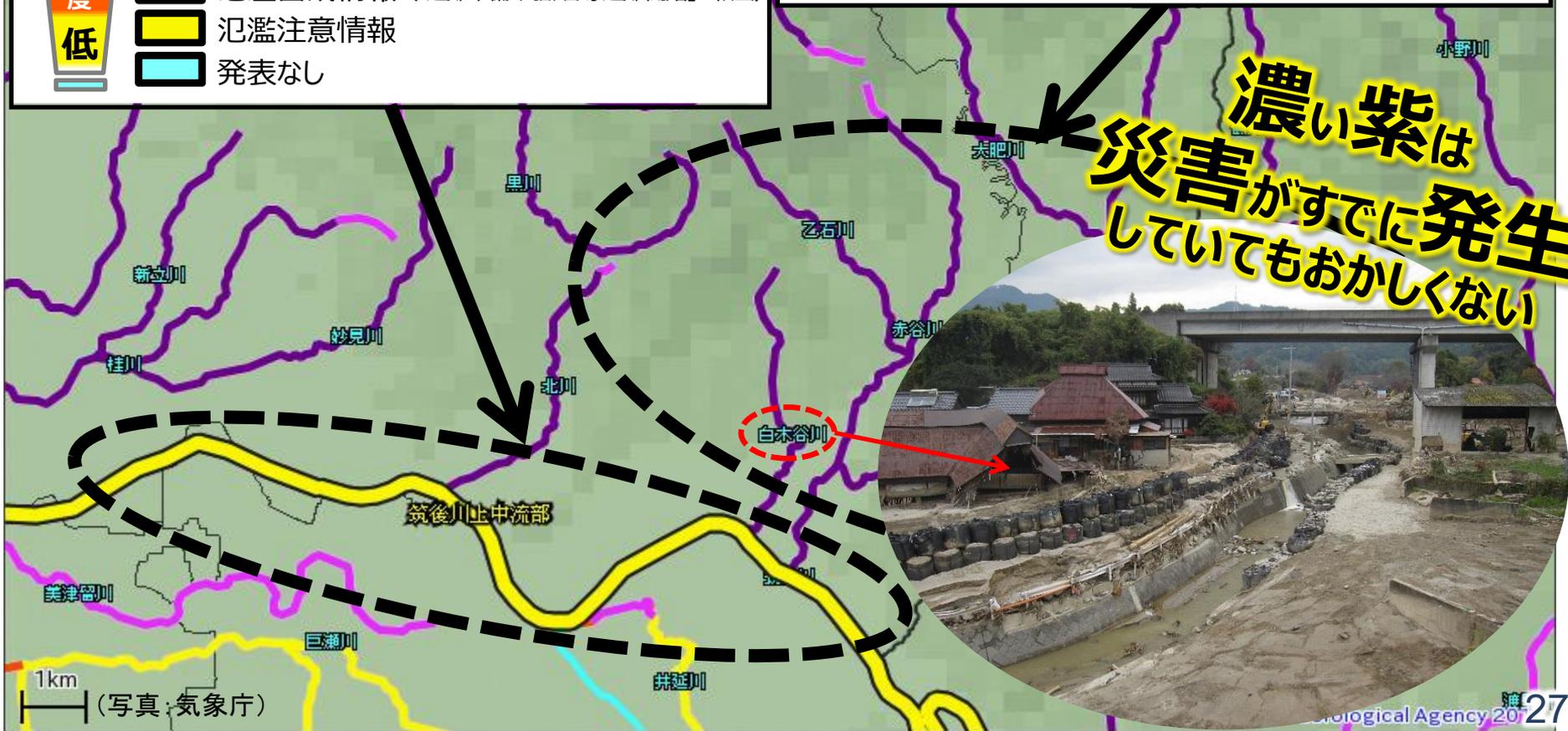
指定河川洪水予報

（国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな損害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。）

高	氾濫発生情報
危険度	氾濫危険情報（『避難勧告』相当）
低	氾濫警戒情報（『避難準備・高齢者等避難開始』相当）
	氾濫注意情報
	発表なし

洪水警報の危険度分布

高	極めて危険
危険度	非常に危険（氾濫注意水位等を越えていれば『避難勧告』相当）
低	警戒（水防団待機水位等を越えていれば『避難準備・高齢者等避難開始』相当）
	注意
	今後の情報等に留意





情報の利用

テレビのニュースで

「大雨のおそれがある」



と言っている！！

どうする？

雨による災害に関する情報

- 土砂災害
- 急傾斜地・沢筋
- 低地の浸水
- 下水道
- 河川の外水氾濫や河川周辺の浸水
- その他河川
- 水位周知河川
- 洪水予報河川

警報級の可能性

大雨に関する気象情報

危険度の高まりを伝える警報・注意報

大雨注意報

洪水注意報

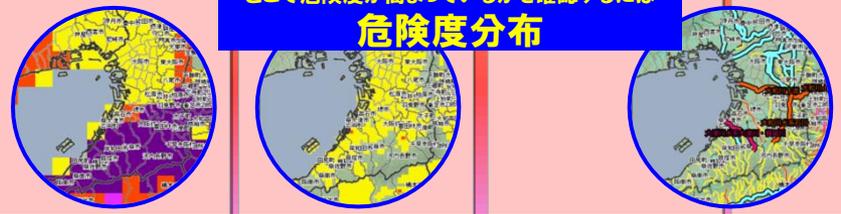
これから危険度が高まる見通しを把握するには
危険度を色分けした時系列

雨量(ミリ)	10	40	50	70	70	40			
大雨 (浸水害)									浸水注意
洪水 (洪水害)									氾濫

警報・注意報を
補足する情報

指定河川洪水予報

どこで危険度が高まっているかを確認するには
危険度分布



大雨警報
(土砂災害)

大雨警報
(浸水害)

洪水警報

都道府県と気象台が
共同で発表
土砂災害警戒情報

水位周知下水道の
管理者が発表
氾濫危険情報

水位周知河川の
管理者が発表
氾濫危険情報

河川管理者と気象台が
共同で発表
氾濫危険情報

大雨特別警報
(土砂災害)

大雨特別警報
(浸水害)

避難に直結する情報

住民の行動

- 心構えを一段高める
- 今度の情報に留意

- 今後の情報に留意

- 避難準備
- 高齢者等の要配慮者は避難開始

- 避難開始
(避難完了)

低

危険度

高

気象庁ホームページ



10:08
jma.go.jp

国土交通省
気象庁
Japan Meteorological Agency

[本文へ](#) | [情報ご利用ガイド](#) | [ENGLISH](#) | [ご意見・ご感想](#) | [サイトマップ](#)

アクセスの多いコンテンツ

- 火山活動状況 [口永良部島](#)
- 雨の様子([雨雲の動き](#) / [今後の雨](#))
- 警報の危険度分布([土砂災害](#) / [浸水害](#) / [洪水](#))
- [天気予報](#) | [週間天気予報](#) | [気象警報・注意報](#)
- [台風情報](#) | [天気図](#) | [レーダー](#) | [アメダス](#)
- 気象衛星 [10分毎](#) / [2.5分毎](#) | [地震情報](#) | [津波情報](#)

地域別に見る | **天気** | 地球環境・気候 | 海洋 | 地震・津波 | 火山

北海道
東北
北陸
甲信
東海
関東
中国
近畿
九州
四国
沖縄

見たい地域を選んでください

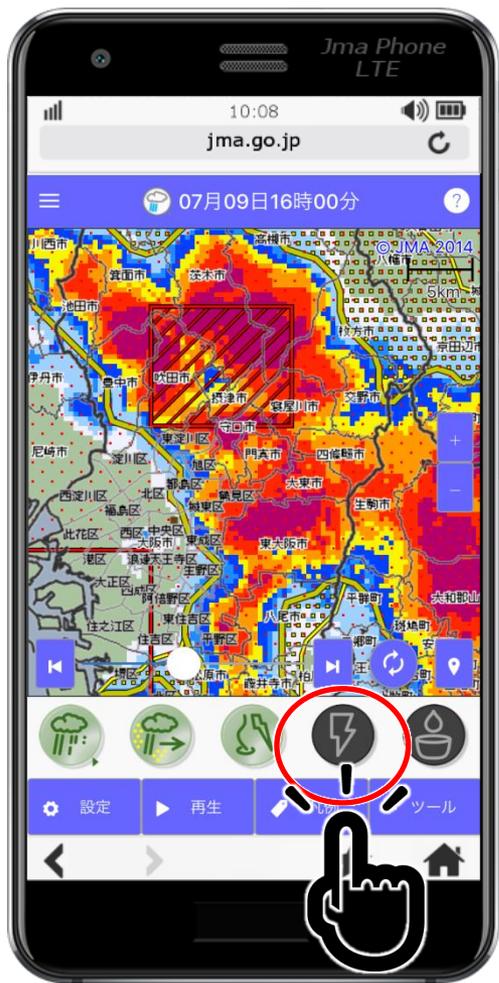
警報・注意報発表下の市町村で、危険が迫っている地域を確認する



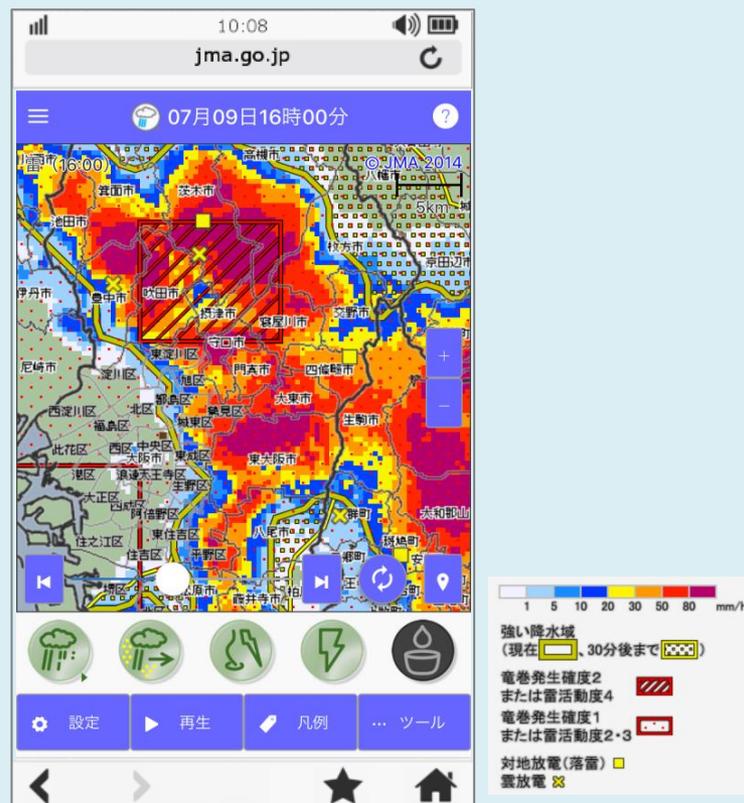
現在の雨雲の状況を確認するには、
「高解像度降水ナウキャスト」
が便利です。



警報・注意報発表下の市町村で、危険が迫っている地域を確認する



「高解像度降水ナウキャスト」では、**竜巻発生確度、雷活動度、雷の発生状況**などを重ねて表示できます。



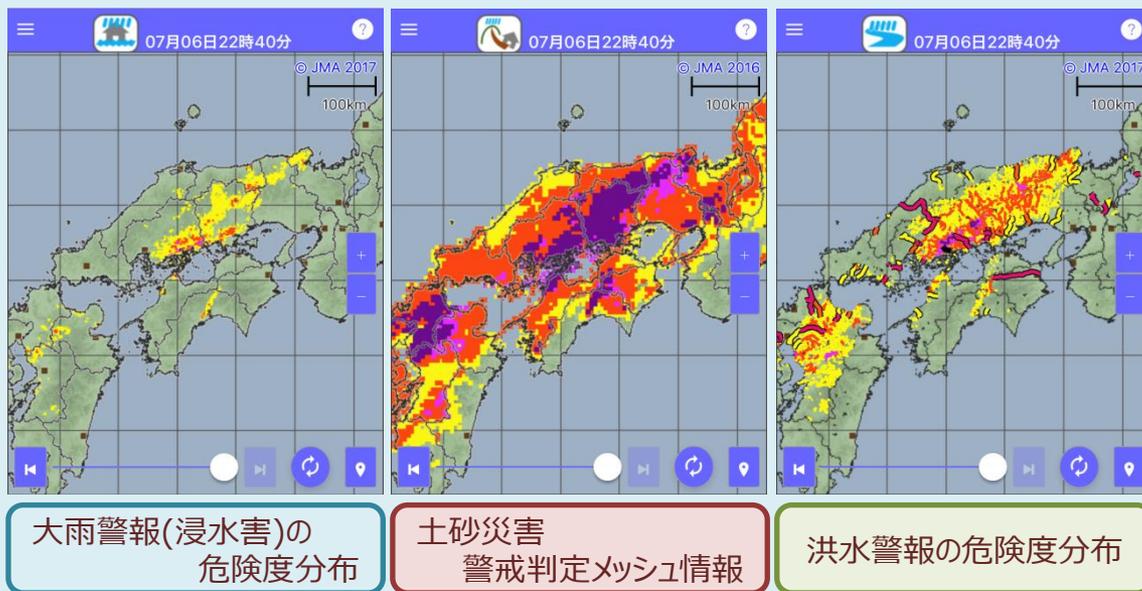
警報・注意報発表下の市町村で、危険が迫っている地域を確認する



雨雲の状況のほか、

「浸水害」、「土砂災害」、「洪水害」

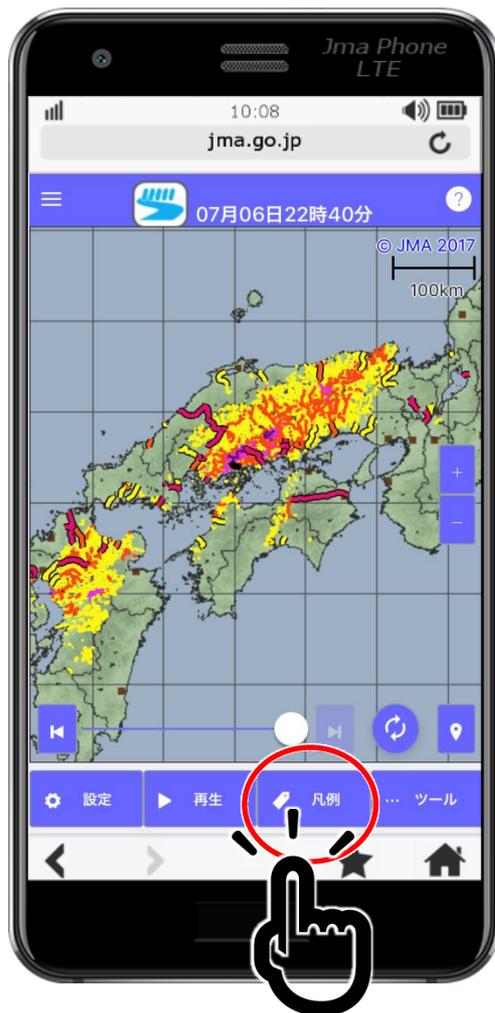
に対する危険度分布の切替表示ができます。



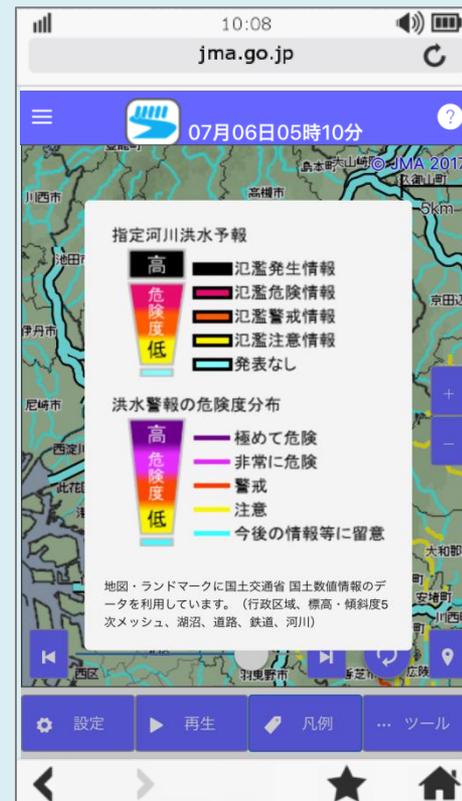
※ 平成30年7月豪雨の際の危険度分布です。

【重要】 洪水警報の危険度分布は、河川管理者が発表する水位情報もあわせてご利用ください。

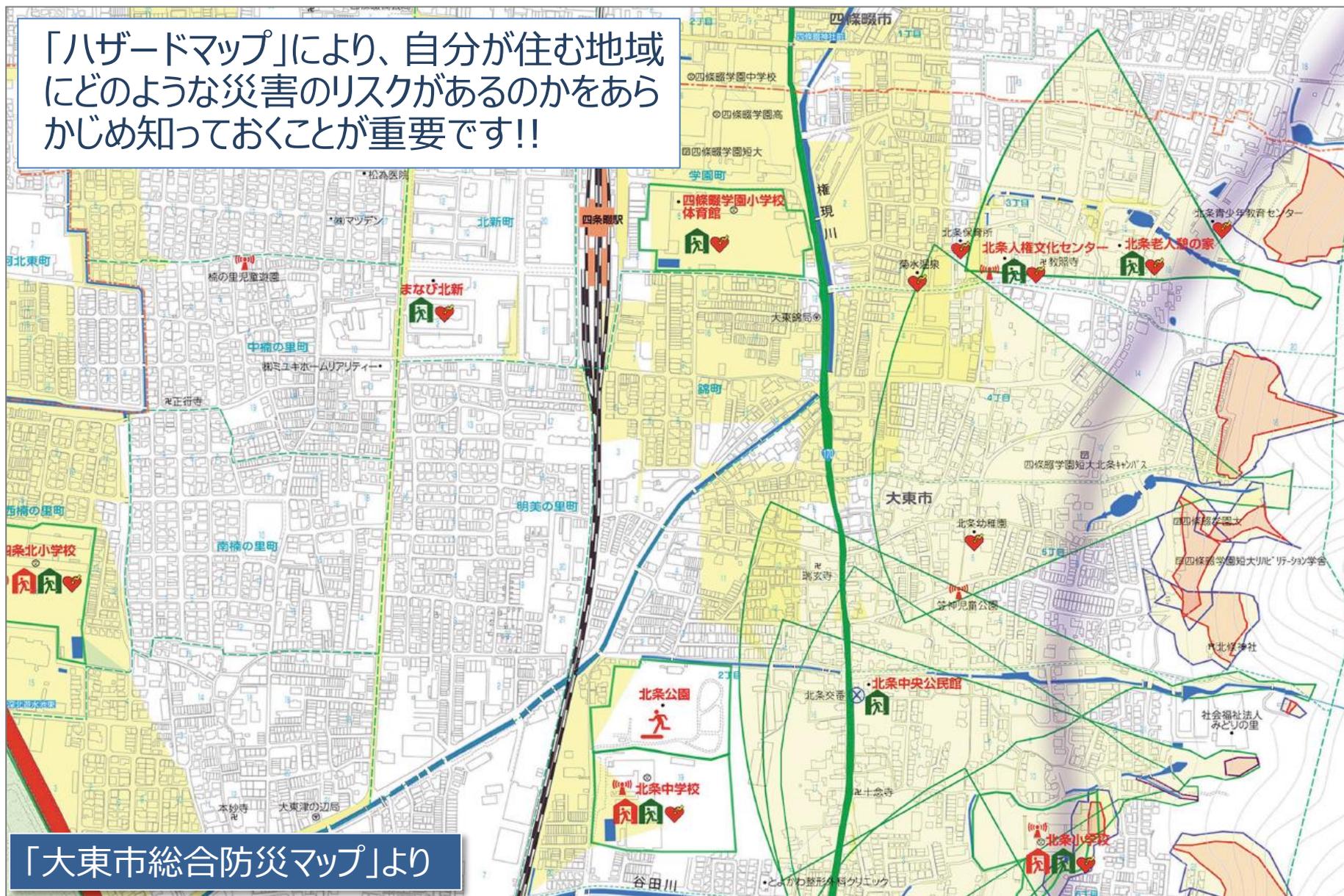
警報・注意報発表下の市町村で、危険が迫っている地域を確認する



凡例ボタンを押すと、色に対する危険度の解説が表示されます。

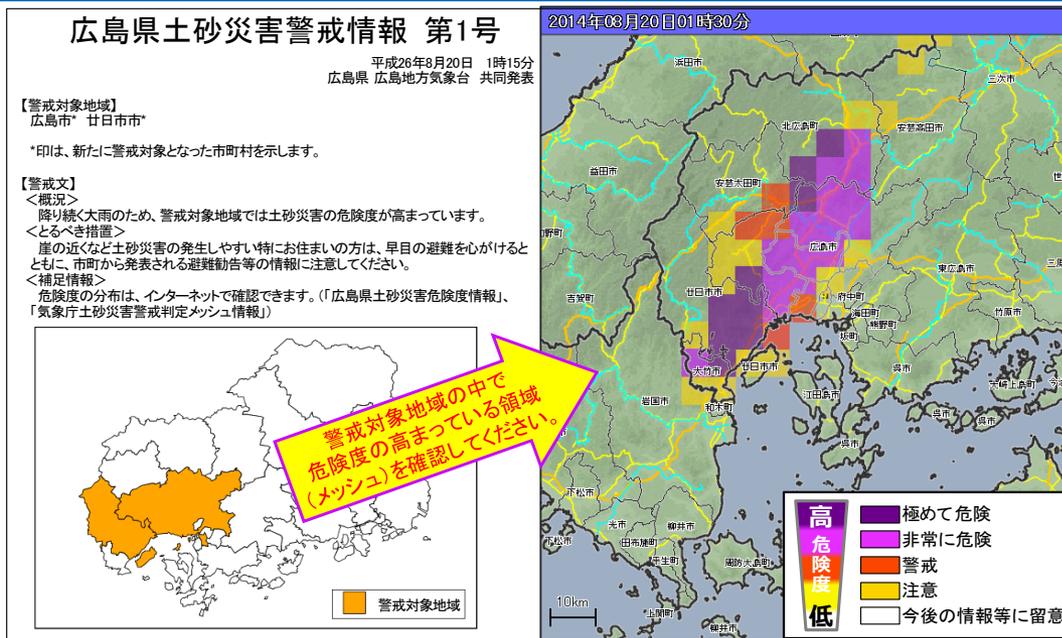


「ハザードマップ」により、自分が住む地域にどのような災害のリスクがあるのかをあらかじめ知っておくことが重要です!!



土砂災害警戒情報は、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難勧告や住民の避難開始の判断を支援するために、都道府県と気象庁が共同で発表しています。土砂災害発生危険度が高まっている詳細な領域は「土砂災害警戒判定メッシュ情報」で確認できます。

「極めて危険」（**濃い紫**）が出現すると、命に危険を及ぼす土砂災害がすでに発生しているもおかしくない状況となりますので、**土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等にお住まいの方は**、土砂災害警戒情報が発表されたときには、「土砂災害警戒判定メッシュ情報」を確認し、遅くとも該当領域に「非常に危険」（薄い紫）が出現した時点で速やかに避難を開始してください。



色	色の持つ意味	内閣府「避難勧告等に関するガイドライン」の 発令基準に対応する避難情報		
		土砂災害	浸水害	洪水害
濃い紫	極めて危険 警報基準の一段上の基準にすでに到達	避難指示(緊急)		
薄い紫	非常に危険 警報基準の一段上の基準に到達すると予測	避難勧告		氾濫注意水位等を越えていれば 避難勧告
赤	警戒 (警報級) 警報基準に到達すると予測	避難準備・ 高齢者等避難開始	避難準備・ 高齢者等避難開始	水防団待機水位等を越えていれば 避難準備・ 高齢者等避難開始
黄	注意 (注意報級) 注意報基準に到達すると予測			
—	今後の 情報等に留意			

**濃い紫は
災害がすでに発生
していてもおかしくない**

濃い紫が出現してからでは、**重大な災害がすでに発生している可能性が高い極めて危険な状況**となることから、できる限り早めの避難を心がけ、遅くとも**薄い紫**が出現した段階で、（洪水害については河川水位などの現況も確認した上で）速やかに避難開始の判断をすることが重要です。

(参考) 危険度分布の利用



「**薄い紫**」で避難した方は逃げる事ができたそうですが、「**濃い紫**」が出た後に避難しようとした方は、避難所までの道路が土石流で洗われ、すでに逃げる事ができなかったそうです

(住民の方の証言より)



⑤ 気象台からのお願い

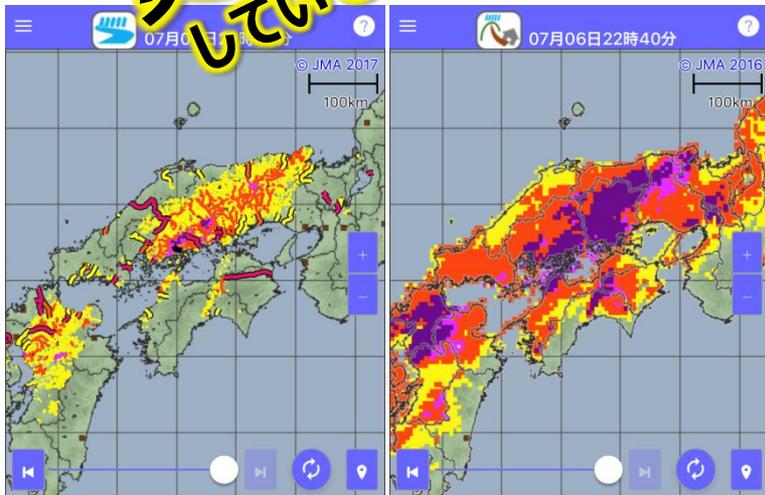
平成30年7月豪雨では、亡くなった方の7割以上が60歳以上の高齢者であったとの報道があります。

健常な方より避難に時間が多く必要な、高齢者や体が不自由な方、小さなお子様がいらっしゃるご家庭などは、早め早めの行動が重要です。

大雨警報や土砂災害警戒情報が発表されるような気象状況の時は、自治体からの避難に関する情報に十分留意するとともに、家の周りの変化に気をつけて、自らの命を守るようにお願いします。

あなたの大切な人の**命**を守るために
危険度分布を使ってください

濃い紫は
災害がすでに発生
しているもおかしくない



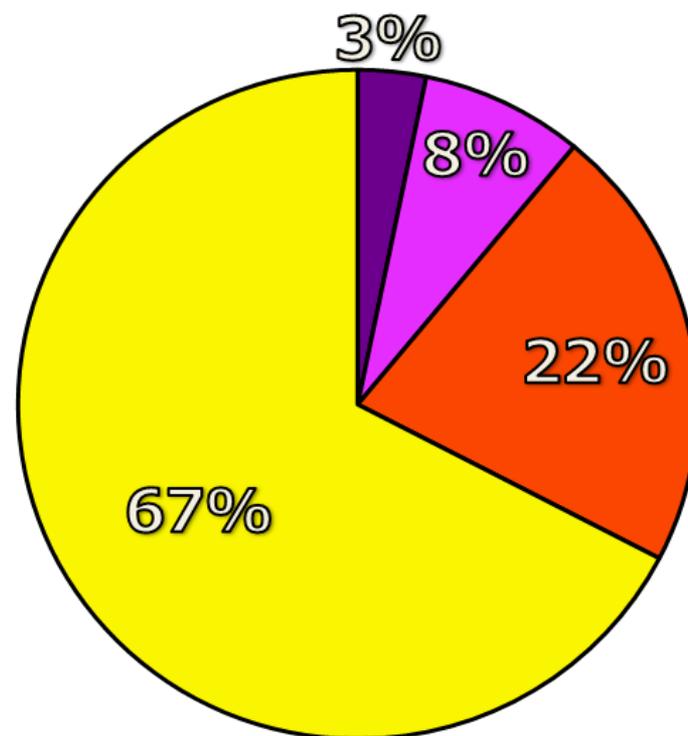
洪水警報の危険度分布における各危険度の出現頻度

- 対象期間は平成29年7月4日から10月26日までのおよそ4ヶ月間。（平成29年7月九州北部豪雨、南西諸島や西日本、北海道を中心に大雨となった台風第18号、西日本から東日本、東北地方の広い範囲で大雨となった台風第21号などを含む。）
- 二次細分区域（市町村）ごとに各危険度の出現頻度および出現割合を算出した。

各危険度の出現頻度

危険度	出現頻度
極めて危険 すでに基準Ⅲに到達	361回 0.2回／市町村
非常に危険 3時間先までに基準Ⅲに到達すると予測	863回 0.5回／市町村
警戒（警報級） 3時間先までに基準Ⅱに到達すると予測	2406回 1.4回／市町村
注意（注意報級） 3時間先までに基準Ⅰに到達すると予測	7503回 4.2回／市町村

各危険度の出現割合



濃い紫色の出現頻度は1市町村あたり0.2回程度であり、滅多に出現しないほどに「極めて危険」な状況であることを示している。

土砂災害警戒判定メッシュ情報の色に応じた住民等の行動の例

色が持つ意味	住民等の行動の例※	内閣府のガイドラインで土砂災害警戒区域等を対象に発令が必要とされている避難情報
<p>極めて危険 すでに土砂災害警戒情報の基準に到達</p>	<p>過去の重大な土砂災害発生時に匹敵する極めて危険な状況。命が奪われるような土砂災害がすでに発生していてもおかしくない。この状況になる前に土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所への避難を完了しておく必要がある。</p>	<p>避難指示（緊急）</p>
<p>非常に危険 2時間先までに土砂災害警戒情報の基準に到達すると予想</p>	<p>命が奪われるような土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況。速やかに土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所への避難を開始する。</p>	<p>避難勧告</p>
<p>警戒 (警報級) 2時間先までに警報基準に到達すると予想</p>	<p>土砂災害への警戒が必要。避難の準備をして早めの避難を心がける。高齢者等は速やかに土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所への避難を開始する。</p>	<p>避難準備・高齢者等避難開始</p>
<p>注意 (注意報級) 2時間先までに注意報基準に到達すると予想</p>	<p>土砂災害への注意が必要。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。</p>	<p>—</p>
<p>今後の情報等に留意</p>	<p>今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。</p>	<p>—</p>

※ 大雨警報(土砂災害)の危険度分布に関わらず、自治体から避難勧告等が発令された場合には速やかに避難行動をとってください。

大雨警報(浸水害)の危険度分布の色に応じた住民等の行動の例

色が持つ意味	住民等の行動の例※1	想定される周囲の状況例
極めて危険 すでに 警報基準の一段上の 基準に到達	《表面雨量指数の実況値が過去の重大な浸水害発生時に匹敵する値にすでに到達。重大な浸水害が すでに発生 しているおそれが高い 極めて危険 な状況。》	
非常に危険 1時間先までに 警報基準の一段上の 基準に到達すると予想	周囲の状況を確認し、 各自の判断で、屋内の浸水が及ばない階に移動 する。	道路が一面冠水し、側溝やマンホールの場所が分からなくなるおそれがある。道路冠水等のために鉄道やバスなどの交通機関の運行に影響が出るおそれがある。周囲より低い場所にある多くの家屋が、床上まで水に浸かるおそれがある。
警戒 ※2 (警報級) 1時間先までに警報 基準に到達すると予想	安全確保行動をとる準備 をして早めの行動を心がける。高齢者等 は速やかに安全確保行動をとる 。	側溝や下水が溢れ、道路がいつ冠水してもおかしくない。周囲より低い場所にある家屋が、床上まで水に浸かるおそれがある。
注意 (注意報級) 1時間先までに注意報 基準に到達すると予想	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意。ただし、 道路のアンダーパスには各自の判断で近づかない。住宅の地下室からは各自の判断で地上に移動する 。	周囲より低い場所で側溝や下水が溢れ、道路が冠水するおそれがある。住宅の地下室や道路のアンダーパスに水が流れ込むおそれがある。周囲より低い場所にある家屋が、床下まで水に浸かるおそれがある。
今後の 情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意。	普段と同じ状況。雨のときは、雨水が周囲より低い場所に集まる。

※1 大雨警報(浸水害)の危険度分布に関わらず、自治体から避難勧告等が発令された場合や下水道管理者から氾濫危険情報等が発表された場合には速やかに避難行動をとってください。

※2 自治体から避難準備・高齢者等避難開始が発令される状況です。

洪水警報の危険度分布の色に応じた住民等の行動の例

色が持つ意味	避難情報や水位情報等に応じた住民等の行動の例※1・2	流域雨量指数の各基準への到達状況とそこから想定される周囲の状況例
極めて危険 すでに警報基準の一段上の基準に到達	《流域雨量指数の実況値が過去の重大な洪水害発生時に匹敵する値にすでに到達。重大な洪水害（家屋の床上浸水等）がすでに発生しているおそれが高い極めて危険な状況。》	
非常に危険 3時間先までに警報基準の一段上の基準に到達すると予想	重大な洪水害が発生するおそれが赤色（警報級）よりもさらに高まると予想されており、水位が氾濫注意水位等を越えていれば自治体から避難勧告が発令される非常に危険な状況となっているため、自治体の避難情報を確認し、 <避難勧告等が発令されている場合> 速やかに避難を開始する。 <避難勧告等が発令されていない場合> 河川の水位情報を確認し※3、 水位が氾濫注意水位等を越えている場合には、前述の状況を踏まえ、速やかに避難を開始することが重要。	流域雨量指数の3時間先までの予測値が、過去の重大な洪水害発生時に匹敵する値（警報基準の一段上の基準）に到達すると予想。 水位周知河川・その他河川がさらに増水し、今後氾濫するおそれが高い。 重大な洪水害（家屋の床上浸水等）が発生するおそれが高い。
警戒 （警報級） 3時間先までに警報基準に到達すると予想	重大な洪水害が発生するおそれがあり、水位が水防団待機水位等を越えていれば自治体から避難準備・高齢者等避難開始が発令される状況となっているため、自治体の避難情報を確認し、 <避難準備・高齢者等避難開始が発令されている場合> 避難の準備をして早めの避難を心がける。 <避難準備・高齢者等避難開始が発令されていない場合> 河川の水位情報を確認し※4、 水位が水防団待機水位等を越えている場合には、前述の状況を踏まえ、避難の準備をして早めの避難を心がける。	流域雨量指数の3時間先までの予測値が、重大な洪水害が発生する値（警報基準）に到達すると予想。 水位周知河川・その他河川がさらに増水し、今後氾濫するおそれがある。 重大な洪水害（家屋の床上浸水等）が発生するおそれがある。
注意 （注意報級） 3時間先までに注意報基準に到達すると予想	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意。	流域雨量指数の3時間先までの予測値が、軽微な洪水害が発生する値（注意報基準）に到達すると予想。 水位周知河川・その他河川が増水し、軽微な洪水害（道路冠水や家屋の床下浸水等）が発生するおそれがある。
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意。	普段と同じ状況。雨のときは、雨水が河川に集まり流れ下る。

※1 洪水警報の危険度分布に関わらず、自治体から避難勧告等が発令された場合や河川管理者から氾濫危険情報等が発表された場合には速やかに避難行動をとってください。
 ※2 洪水予報河川の外水氾濫については、洪水警報の危険度分布ではなく、河川管理者と気象台が共同で発表している指定河川洪水予報等を踏まえて避難勧告等が発令されますので、それらに留意し、適切な避難行動を心がけてください。
 ※3 河川の水位情報は「川の防災情報」で確認してください。その他河川では水位を観測していない河川がありますので、その場合は、早めの避難の観点から、速やかに避難を開始することが重要です。
 ※4 河川の水位情報は「川の防災情報」で確認してください。その他河川では水位を観測していない河川がありますので、その場合は、避難の準備をして早めの避難を心がけてください。